

第41回



山口県総合芸術文化祭 2019

山口県高等学校総合文化祭



広げよ 創造の大河 築け 未来への架け橋

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定
向 川 栄 美 作 詞
乗 松 美 紀 作 曲

1. てをのばせばほら きつと だれかが さえて くれる
2. よびかければほら きつと だれかが こたえて くれる

みーわ たせー ば ほら なかまが いつでも そばに いる きみ
こころ をひらけ ば ほら なかまは いつでも まって いる きみ

は ひとりじゃない い さあ あ る き だ そ う
は ひとりじゃない い さあ あ は き だ そ う

ほくら のぶんか を つく る た め ー に
ほくら のぶんか を つく る た め ー に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きつと誰かが支えてくれる
見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きつと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔はばたこう

僕等の文化を築くために



 山口県総合芸術文化祭 2019

第 41 回 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式 プログラム

式典・慶祝演奏 13:30 ~ 16:00

慶祝展示 13:00 ~ 16:00

期 日	令和元年 6 月 13 日 (木)
会 場	宇部市渡辺翁記念会館
主 催	山口県・山口県教育委員会 山口県高等学校文化連盟
共 催	宇部市・宇部市教育委員会
後 援	山口県中学校文化連盟
主管校	山口県立小野田高等学校



あいさつ

山口県教育委員会 教育長 浅原 司

「広げよ 創造の大河 築け 未来への架け橋」というテーマのもと、宇部市渡辺翁記念会館を主会場として、第41回山口県高等学校総合文化祭が盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

さて、新しい時代「令和」が幕開けしました。「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という思いが、この「令和」には込められているということです。日々、互いに助け合いながら、文化芸術活動に励んでおられる高校生の皆さんが、「令和」最初の総合文化祭においても、各部門相互の交流を深めて感動を共有し、感性を刺激し合いながら豊かに高め合うことで、創造活動の向上をより一層図られることを願っています。

県教育委員会では、「文化にふれあい親しむ環境づくりの推進」を施策の一つに掲げ、次代を担う皆さんの豊かな感性や創造性を育む文化環境づくりを推進しています。本総合文化祭をはじめとした文化芸術活動の成果を発表する機会や学校において優れた芸術にふれあう機会の提供、また、美術館など県立の文化施設等と連携した企画展や講座などの充実も図っているところです。こうした中で、高校生の皆さん一人ひとりが、自らが文化のつくり手であるという自覚のもと、文化芸術活動に主体的に取り組むことにより、文化を継承しつつ新たな文化を創造していく人に成長されますことを大いに期待しています。

結びに、本総合文化祭の開催に当たり、格別の御支援・御協力をいただきました地元宇部市及び宇部市教育委員会をはじめ、関係各位に対しまして、厚くお礼を申し上げますとともに、本総合文化祭の盛会と山口県高等学校文化連盟のますますの御発展を祈念いたしまして、御挨拶といたします。

あいさつ

山口県高等学校文化連盟 会長 開地元典



県下各地の高校生が織りなす文化の祭典「第41回山口県高等学校総合文化祭」の総合開会式が、ここ宇部市で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

特に今年は、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められた令和元年の幕開けであり、大会のテーマは「広げよ 創造の大河 築け 未来への架け橋」です。高校生たちが、みずみずしい感性でそれぞれ自分らしい表現を追求し、「創造の大河」を広げ、自分らしく発表することにより、「未来への架け橋」を築く新たな担い手として成長してくれることを願っています。

今年度も、5月の将棋部門・小倉百人一首かるた部門の大会をスタートに、各部門別の大会や発表会が県内各地で開催されます。日々の努力の成果が十分に発揮され、この総合文化祭を通じて、友情の輪が広がり、高校生の文化創造の奥行きが深まることを期待しています。

また、7月には第43回全国高等学校総合文化祭が佐賀県で開催されます。参加する本県の生徒たちが、日頃の活動で培われた力を十分に発揮し、その集大成としてそれぞれの部門で一層の活躍をしてくれるものと思っています。

終わりに、本大会の開催にあたり、御支援を賜りました山口県、山口県教育委員会、地元宇部市、宇部市教育委員会をはじめ、準備運営に多大な御尽力をいただきました小野田高等学校をはじめ、宇部地区の関係各校に心から感謝申し上げます御挨拶といたします。



あいさつ

宇部市長 久保田 后子

第41回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式が、本市において盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げますとともに、県内各地からお越しいただいた皆様を心から歓迎いたします。

本大会は、7月に佐賀県で開催される全国高等学校総合文化祭への出場を目指して、日々研さんに努められた活動成果を披露する高校生の芸術文化の祭典であるとともに、みなさんにとって幅広い文化活動に触れることのできる絶好の機会でもあります。文化芸術から私たちが与える楽しさや感動は、人生の喜び、生きる糧となり、人を育て、人と人とのつながりを生み出すもので、心豊かな生活や活力ある社会に欠かすことはできません。

みなさんが、本大会を通じて、仲間や他校の生徒とお互いを高めあい、交流を深め、豊かな人間性と創造力を育まれることを願っています。

さて、いよいよ来年に迫った2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、海外から訪れる方々のおもてなしをはじめ、全世界に向けて我が国の魅力を発信するうえで、「文化」が果たす役割に大きな期待が寄せられています。

2018年6月に「SDGs 未来都市」に選定された本市においては、SDGsが掲げる「地球上の、誰一人取り残さない」という理念をもとに、高齢者や障害者、外国人など、誰もが日本文化の魅力を感じることのできる共生社会の実現を目指しています。

あわせて、2021年の市制施行100周年に向けて、日常の出来事の中から「文化」が実感できるよう、「人と地域がきらめく 文化の薫るまち」づくりにも積極的に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様の御支援と御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

結びに、本大会の開催にご尽力いただいた関係各位に深く敬意と謝意を表しますとともに、本日ご参会のみなさんのますますのご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

あいさつ

山口県立小野田高等学校 生徒会長 川崎 唯



新元号、令和となって初めての山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、ここ宇部市で開催されることになりました。私も代表生徒として参加させていただけることを、誇らしく感じています。

宇部市は「彫刻のまち」として知られています。かつて石炭の町として栄え、工業都市として発展してきましたが、心の豊かさも大切にしたいという市民運動をきっかけとして、1961年に国内では初めての野外彫刻展が開催されました。現在では、市民の憩いの地、ときわ公園に100点以上の野外彫刻が展示されているのを始めとし、ここ渡辺翁記念会館や、市立図書館など、市内のさまざまな場所において、優れた彫刻作品を鑑賞することができます。

体育競技と比べると、文化部門の活動は派手さには欠けるかもしれませんが、100mを何秒で走るとか、一試合でどのくらい得点するとか、数字で成果を表すことができないからです。しかし、音楽・美術・書道・写真部門などのいずれにおいても、創作者も鑑賞者も、感動を共有することにより、「文化の創造」という大河の一滴になることはできると思います。私はダンスを習っていて発表会に出る機会がありますが、ふだん宇部の町を歩きながら、ふと出会った彫刻作品が一体どのようなメッセージを伝えようとしているのか考えるのが好きです。本日会場に展示してある作品を鑑賞し、慶祝演奏を聴いたりするのもとても楽しみです。本日ここにお集まりの皆さん。演奏や作品を披露してくださる方も、鑑賞者の皆さんも、ぜひ一緒に楽しく充実した時間を過ごしましょう。

平成から令和にかけて高校時代を過ごす私達が生み出す文化が、次の世代にも感動を与え、私たちの想いを受け継いでくれるなら、それが未来への架け橋になってくれると信じます。

次 第

1 式 典

- ◇開会宣言 山口県立小野田高等学校 3年 宮川 史也
- ◇ファンファーレ 『ファンファーレ』
【演奏】宇部地域高等学校吹奏楽団
〈指揮〉中村 一（山口県立小野田高等学校）
- ◇専門部紹介 ○演劇○器楽・管弦楽○合唱○吹奏楽○マーチングバンド・パトントワリング
○日本音楽○吟詠剣詩舞○美術・工芸○書道○写真○囲碁○将棋
○放送○文芸○自然科学○小倉百人一首かるた（以上16部門）
- ◇主催者挨拶 山口県高等学校文化連盟会長 開地 元典
山口県教育委員会教育長 浅原 司
山口県立小野田高等学校生徒代表 川崎 唯
- ◇歓迎の言葉 宇部市長 久保田后子
- ◇来賓紹介
- ◇表 彰〔優秀芸術文化賞〕 山口県立山口高等学校 管弦楽部
山口県立防府西高等学校 吹奏楽部
山口県立岩国高等学校 放送部
山口県立下松高等学校 放送部
山口県立徳山高等学校 放送部、文芸部
山口県立徳山高等学校 2年 大中 智哉
〔功 績 賞〕 山口県立山口中央高等学校 前校長 阿武 慎治
山口県立岩国高等学校 教諭 平田 博英
山口県立徳山高等学校 教諭 濱崎 洋
〔テーマ最優秀賞〕 山口県立小野田高等学校 3年 山田 健太

【進行】山口県立小野田高等学校

2 慶祝演奏

- ◇日本音楽 『流伝』『鴻城魂』『古武』
【演奏】宇部鴻城高等学校太鼓部
- ◇パトントワリング 『Sing Sing Sing』
【演奏】慶進高等学校
- ◇吹奏楽 『もののけ姫セレクション』
【演奏】宇部地域高等学校吹奏楽団
〈指揮〉中村 一（山口県立小野田高等学校）
- ◇器楽・管弦楽・合唱 『カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」』
『交響詩《フィンランディア》』
『翼をください』
【演奏】山口県高等学校管弦楽団・合唱団
〈指揮〉松田 廉遵（宇部鴻城高等学校）

3 慶祝展示

- ◇演劇、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学、小倉百人一首かるた

4 山口県高等学校文化連盟表彰者

(1) 優秀芸術文化賞

山口県立山口高等学校 管弦楽部

平成30年11月に開催された日本学校合奏コンクール全国大会グランドコンテストにおいて、金賞を受賞（※平成30年度卒業式で授与）

山口県立防府西高等学校 吹奏楽部

平成30年11月に開催された日本学校合奏コンクール全国大会グランドコンテストにおいて、金賞並びに県教育長賞（全国2位）を受賞（※平成30年度卒業式で授与）

山口県放送部合同チーム（岩国高・下松高・徳山高）

第42回全国高等学校総合文化祭 放送部門（岡谷市：カノラホール）CM部門において「深夜収穫を支える、新鮮高原セロリー」で部門1位にあたる原村長賞・なび助賞を受賞（※平成30年度卒業式で授与）

山口県立徳山高等学校 文芸部

平成30年8月に愛媛県松山市で開催された第21回俳句甲子園 全国高等学校俳句選手権大会 優勝（※平成30年度卒業式で授与）

山口県立徳山高等学校 2年 大中 智哉

第27回全国高等学校文化連盟将棋新人大会 男子個人3位

第17回中国地区高等学校将棋選手権大会 男子個人優勝

(2) 功 績 賞

山口県立山口中央高等学校 前校長 阿武 慎治

平成29年度から2年間、山口県高等学校文化連盟会長として、高等学校における芸術文化の振興に寄与した。

山口県立岩国高等学校 教諭 平田 博英

平成11年度から2期4年間、美術・工芸専門部理事長として務め、その後も指導者として長きにわたり部門の発展に寄与した。

山口県立徳山高等学校 教諭 濱崎 洋

平成23年度から4期8年間、美術・工芸専門部理事長として務め、指導者として長きに渡り部門の発展に寄与した。

(3) 優秀指導者賞

該当なし

(4) テーマ最優秀賞

山口県立小野田高等学校 3年 山田 健太

「広げよ 創造の大河 築け 未来への架け橋」

応募総数 5校 442作品

5 慶祝演奏出演校

〔宇部地域高等学校吹奏楽団〕

宇部 宇部商業 宇部西 厚狭 宇部鴻城 宇部フロンティア大学付属香川

慶進 小野田 各高等学校

〔山口県高等学校管弦楽団〕

柳井 防府 山口中央 下関南 各高等学校

〔山口県高等学校合唱団〕

岩国 防府 山口 山口中央 宇部中央 萩 野田学園 慶進 萩光塩学院 各高等学校

各部門開催日程及び会場

◇将棋部門	5月25日(土)・26日(日)	防府市文化福祉会館
◇小倉百人一首かるた部門	5月26日(日)	小野田高等学校
◇音楽4部門(器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング)		
	6月14日(金)・15日(土)	宇部市渡辺翁記念会館
◇日本音楽部門	6月15日(土)	下関市菊川ふれあい会館
◇文芸部門	10月11日(金)	西京高等学校
◇囲碁部門	10月20日(日)	下関西高等学校
◇演劇部門	10月26日(金)・27日(日)	シンフォニア岩国
◇書道部門	11月 2日(土)・ 3日(日)	おのだサンパーク
◇写真部門	11月 8日(金)～10日(日)	新南陽ふれあいセンター
◇放送部門	11月 9日(土)	ニューメディアプラザ山口
◇美術・工芸部門	11月15日(金)～17日(日)	宇部市文化会館

6 慶祝展示

出品者及び出品校一覧

出品校	出品者	題名
《美術・工芸》		
宇部高等学校	3年 島田 葵衣	鯉魚石
宇部中央高等学校	3年 北野 来実	揺らぐ思考・過ぎゆく時間
宇部西高等学校	3年 紀藤 駿友	かぼちゃ
宇部商業高等学校	3年 藤本 千桜	器官→個体
宇部商業高等学校	2年 上野 陽菜	リラの顔
宇部工業高等学校	3年 野村 由乃	強がりな虎
小野田高等学校	2年 村上 七星	日
厚狭高等学校	卒業生 原 和来	こてつ
慶進高等学校	2年 縄田 陽凧子	「うちの猫」
宇部フロンティア大学付属香川高等学校	2年 定光 咲季	自己嫌悪
宇部フロンティア大学付属香川高等学校	3年 末永 愛奈	無題
サビエル高等学校	3年 藤田 朝美	喜び
サビエル高等学校	3年 神代 春花	明かり

《書 道》

山口高等学校	3年	藤 本 彩 花	臨 黃州寒食詩卷跋
山口高等学校	3年	秋 川 琴 音	臨 伊都内親王願文
山口高等学校	3年	沖 村 真 奈	臨 晋祠銘
山口高等学校	3年	芝 田 咲也花	臨 孟法師碑
山口高等学校	2年	田 原 歩 美	臨 光明皇后 樂毅論
山口高等学校	2年	井 上 愛 梨	臨 雁塔聖教序
山口高等学校	2年	吉 田 彩 花	臨 蜀素帖

《写 真》

防府高校	3年	石 川 美 波	帰り道
防府高校	3年	多 賀 莉 乃	好敵手
防府高校	3年	松 田 美 侑	私たちの闘い
防府高校	3年	吉 村 法 香	放課後の住人
防府高校	2年	磯 部 樹	曇天に住まう
防府高校	2年	水 津 桜 咲	ひとりの時間
防府高校	2年	松 本 月 碧	物憂げ
防府高校	2年	吉 本 芽 生	明日から。

《演 劇》

大会風景

《囲 碁》

大会風景

《将 棋》

大会風景

《放 送》

大会風景

《文 芸》

大会風景

《自然科学》

大会風景

《小倉百人一首かるた》

大会風景

表 紙 絵：小野田高等学校	3年	岡 本 沙 羅
中表紙絵：小野田高等学校	3年	平 山 鈴 花
裏表紙絵：小野田高等学校	2年	西 林 連

令和元年度 山口県高等学校文化連盟役員

職名	氏名	支部・専門部	所属校
会 長 副 会 長	開 地 元 典 椎 原 伸 彦 高 橋 等 生 岩 崎 稔 生		山口中央高校 徳山高校 柳井高校 中村女子高校
参 与 支 部 長	栗 林 正 和 河 口 郁 史 高 橋 等 彦 椎 原 伸 彦 河 村 隆 彦 西 村 和 彦 山 根 敬 二 竹 村 和 之	岩国支部 柳井支部 徳山支部 山防支部 宇部支部 下関支部 長北支部	山口高校 岩国高校 柳井高校 徳山高校 防府高校 宇部高校 下関西高校 萩高校
専門部会長	伊 藤 隆 昌 山 田 哲 也 牛 見 正 彦 國 清 賢 一 國 清 賢 一 前 田 茂 雄 (休部) 高 橋 等 彦 山 田 哲 也 河 村 隆 彦 山 根 敬 二 椎 原 伸 彦 椎 原 伸 彦 原 井 進 彦 西 村 和 彦 土 井 浩 浩	演劇部門 器楽・管弦楽部門 合唱部門 吹奏楽部門 マーチングバンド・バトントワリング部門 日本音楽部門 吟詠剣詩舞部門 美術・工芸部門 書道部門 写真部門 囲碁部門 将棋部門 放送部門 文芸部門 自然科学部門 小倉百人一首かるた部門	防府西高校 下関南高校 野田学園高校 光高校 光高校 高水高校 (休部) 柳井高校 下関南高校 防府高校 下関西高校 徳山高校 徳山高校 西京高校 宇部高校 小野田高校
専門部理事長	近 藤 真 美 秋 本 隆 彦 田 中 睦 雄 中 村 亮 亮 中 村 亮 亮 谷 口 たかし (休部) 島 田 憲 貢 河 合 和 子 尾 崎 勝 利 高 野 朝 男 弘 中 敏 之 田 中 祐 子 河 井 昌 枝 大 田 和 子 青 池 のぞみ	演劇部門 器楽・管弦楽部門 合唱部門 吹奏楽部門 マーチングバンド・バトントワリング部門 日本音楽部門 吟詠剣詩舞部門 美術・工芸部門 書道部門 写真部門 囲碁部門 将棋部門 放送部門 文芸部門 自然科学部門 小倉百人一首かるた部門	防府西高校 下関南高校 野田学園高校 光高校 光高校 高水高校 (休部) 柳井高校 下関南高校 防府高校 下関西高校 徳山高校 徳山高校 西京高校 宇部高校 小野田高校
監 事	小土井 実昭 徳 重 正 昭		防府商工高校 山口農業高校
事務局長 事務局次長 事務局員（会計） 事務局員（庶務）	西 村 正 浩 中 明 聖 晴 佐々木 靖 子 舩 井 美佐江		山口中央高校 山口中央高校 山口中央高校 囑託

専門部紹介

〔演劇〕

演劇専門部では、8月に4地区に分かれて地区大会が行われます。優秀校は更に、秋の県大会、冬の中国大会、翌年春の全国大会または夏の全国大会へと勝ち進みます。昨年度の地区大会では、上演した23校のうち17校、つまり3分の2を超す学校が創作脚本で大会に挑むという驚きの創作ブームが起き、演劇に対する高校生の熱い意気込みが感じられました。また、光丘高校が中国大会で2位となる活躍を見せ、春の全国大会に出場し、山口から全国に大きな感動を届けました。夏の全国大会では、上演部門と並ぶもう一つの部門である生徒講評部門において、新南陽高校の生徒が出場し、全国から集まった高校生たちと熱い討論を交わしました。大会の他にも、専門家を招いての講習会、地区ごとに行われる合同公演や講習会、各校での自主公演など、高校生たちは演劇を通して様々な表現活動に意欲的に取り組んでいます。



〔器楽・管弦楽〕

この部門にはギター・マンドリン合奏や弦楽合奏そして管弦楽活動を部活動としている各高等学校と中等教育学校の7校が参加しています。

県内の演奏会としては、この総合文化祭の他に、スプリングコンサートを独自に企画・開催しています。今年の3月27日には柳井市サンビームやないにおいて、第38回器楽・管弦楽スプリングコンサートを開催しました。来年は下関市生涯学習プラザで3月下旬に実施する予定です。

全国高等学校総合文化祭へも毎年参加しており、昨年度は山口高校管弦楽部が長野県長野市に赴き、すばらしい演奏を披露してくれました。各県を代表する中で完成度の高いパフォーマンスはひときわ印象深く、改めて山口県の器楽・管弦楽部門のレベルの高さを認識した次第でした。

今年度、佐賀県で開催される全国総文へは、山口県立下関南高校管弦楽部が参加する予定です。素晴らしい演奏を披露してくれることを大いに期待しています。



〔合唱〕

「広げよ 創造の大河 築け 未来への架け橋」のテーマのもと、私たち合唱部門は総合開会式に山口県高等学校合唱団として参加します。本日の演奏のために各校で練習を重ねてきました。少人数で活動している学校、50人を超える多人数で活動している学校と、各校の状況は様々ですが、今日は山口県下の合唱を愛する仲間、そしてオーケストラの皆さんと合同のステージに立つことができる喜びを大いにかみしめながら、会場の皆さんへ「感動」を届けたいと思います。

また8月に佐賀県で行われる全国総合文化祭に梅光学院高校が初めて参加する予定です。この大会を通して、全国の合唱仲間との交流を深め、輪を広げていってほしいと願っています。

今後も歌うことの楽しさ、素晴らしさを伝えていき、高校生の合唱人口が増えていくよう、そして、山口県の合唱文化が益々発展していくように、各校で日々の練習に励んでいこうと思います。



〔吹奏楽〕

県内はもちろん、全国的に加盟校・加盟者数が最も多い部門は吹奏楽部門です。その活動は多岐にわたりますが、どの団体も大きく2つの目標を持って活動に取り組んでいます。1つは、年間を通して行われる各種大会において、悔いのない演奏をし、目標とする「記録」に向かって精進すること。もう1つは、吹奏楽を愛してくださるお客様と時間を共有し、お客様の「記憶」に残る演奏を奏でられるよう、努力を重ねることです。これら日々の活動成果を発表する場である山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会には、昨年度、52団体1,500名を超える生徒が参加いたしました。互いの演奏に耳を傾け合い、刺激し合うことができ、とても良い機会となりました。今年度も仲間の演奏が聴けることを楽しみにしています。

また、今年度佐賀県佐賀市で行われる全国高等学校総合文化祭には、山口県を代表して防府高校が参加する予定です。悔いのない、素晴らしい演奏を披露してくれることを期待しています。



〔マーチングバンド・バトントワリング〕

マーチングバンドは、吹奏楽の楽器を演奏するバンドと、打楽器担当のバッテリが、演奏しながら曲想にあった動きで、様々な隊形を作っていきます。フラッグや手具を使って踊るカラーガードや、指揮者の近くで鍵盤楽器などを演奏するピットインパーカッションなども加わるとさらに華やかになり、目でも耳でも楽しめるショーになります。また、バトントワリングは、バトンと呼ばれる両端にゴム製のおもりをつけた金属の棒を回したり、空中に投げたりするパフォーマンスのことを指します。音楽・ダンス・バトンの動きが三位一体となり、ステージを豊かに彩ります。

この部門で活動する県内団体は年々減少しており、寂しくなっておりますが、一昨年度より研修会を再開し、県内での活動促進を図っています。現在、毎年の全国総合文化祭への参加も滞っていますが、近い将来、山口県から全国総合文化祭への参加団体が出てくることを目指し、研修会をはじめ、種々の活動を積極的に行っていきたいと思っております。



〔日本音楽〕

山口県の日本音楽部門は、箏・三味線・和太鼓・郷土芸能で組織されています。現在県内では17校が日本音楽部門で活動しています。日本の伝統文化そして和楽器の素晴らしさを実感しながら、その後継の一端を担っているという誇りを持って日々練習に励んでいます。また一言で「日本音楽」と言っても、古典曲から現代のポップス、ダイナミックな太鼓演奏など、様々なタイプの曲目や演奏から構成されています。

本年度は6月15日（土）に下関市のアブニール菊川にて日本音楽部門発表大会が開催されます。参加各校部員はこの日のために懸命に練習に励んで来ました。箏や三味線の美しい音色、古典曲「六段の調べ」の合同演奏、そして威勢の良い掛け声と胸を打つ太鼓の響きに、高校生の若い感性とひたむきさ、そして力強さを感じていただけることでしょう。



〔美術・工芸〕

美術・工芸部門の活動には、多様な表現活動があります。絵画、版画、デザイン、工芸、彫刻、映像の各分野で、さまざまな素材や画材を使った多様な表現方法で作品が生まれてきます。秋に行われる美術・工芸部門の展示では150点あまりの優秀な力作が並び、レベルの高い展覧会となります。作品は制作者の発想や構想、それぞれの思いがしっかりと込められたものばかりで、多くの作品が一辺1mを超える大作となります。制作者一人ひとりが苦労しながらアイデアをひねり出し、それを形にすべく新たな技能や技術を習得・工夫しながら作品を生み出している痕跡を感じ取っていただけたらと思います。

今年度の美術・工芸部門の展覧会は宇部市文化会館で11月15日～17日に開催されます。展覧会ではお互いの作品を鑑賞し、交流と親睦を深め、創造の喜びを共感していただければと思います。



〔書道〕

書道部門は、秋に県総合文化祭部門大会として作品展を開催します。全国大会の予選となるコンクールでもあり、この大会に向けて生徒たちは修練を重ね、技術を磨きます。日々の練習の成果をこの1点に表現できるよう努力しています。ぜひ作品展に足を運んでいただき、制作者生徒の意志を感じていただきたいと思います。

また、年に一度、県内の書道部員の合同生徒研修会を行っています。運動部と違い、なかなか他校生徒との交流機会の少ない書道部ですが、1泊2日の大行事です。共同作品の制作や漢字一字の大字創作などの盛り沢山のプログラムの中で、新鮮な刺激を受け、学校内だけではできない経験を積み重ねます。互いに切磋琢磨し、書の技術の上達と同時に、コミュニケーション能力や人としての心の豊かさを養える大切な機会です。そこで作り上げた共同作品は総合文化祭で発表しますのでぜひご覧下さい。



〔写真〕

写真専門部の活動の中で最も重要なものは、山口県高等学校総合文化祭での写真作品の展示です。この展示作品に対して審査が行われ、その結果により、次年度夏の全国高等学校総合文化祭への出品作品が決定します。文化祭での作品審査や、講評会と写真研修会の講師を日本写真家協会会員のプロカメラマンに依頼しております。この講評会と研修会において、参加生徒はレベルの高いアドバイスや指導を直接受けることができます。その他にも生徒の提出作品に対して、講評やトリミング指示、コメントなど、書き込んでもらい、作品作りのアドバイスを受けることができる研修会も行っています。これらの取り組みは、写真部生徒や顧問の写真撮影技術向上につながるものと考えています。今後もできる限り、山口県の高校写真部のレベル向上を目指した取り組みを続けていきたいと思っています。



〔囲碁〕

今年の囲碁部門の県大会は、10月に行われ、段級位認定戦と代表決定戦とに分かれています。段級位認定戦では、成績に応じて段や級の認定状を取得でき、代表決定戦では中国大会と全国大会の代表を決定します。中国大会には、男女団体に各1校（3名）、男子個人戦に6名、女子個人戦に3名まで出場できます。今年中国大会は、12月に岡山県で開催されます。また、全国大会には、男女混成の団体戦に3名、男・女個人戦に各1名、計5名の生徒が県代表として出場することになります。今年県大会では、来年の8月に高知県で行われる全国大会の代表を決定します。また、囲碁は世界的にも愛好家が増えており、各種のボードゲームの中でも優れた知的ゲーム、頭脳のスポーツです。初心者でも高校の2年あまりで段位を取得するまでになることができ、中国大会や全国大会の代表になることもできます。初心者の方もどうぞ各学校の囲碁部に入部してください。囲碁部のない学校からも大会に参加することはできますので、気軽に大会に参加してみてください。



〔将棋〕

近年、プロ・アマ問わず将棋界は大きな盛り上がりを見せています。山口県も、その流れに乗りアマチュア大会での全国優勝が続いています。

そして高校生の皆さんも全国大会や中国大会で活躍しています。昨年、長野県千曲市で開催された第42回全国高等学校総合文化祭将棋部門大会では、徳山高等学校が女子団体に5位入賞を果たしました。また、鳥取県米子市での第17回中国地区高等学校将棋選手権大会では、県勢初となる男子個人優勝、さらに、2月に岡山県玉野市で行われた第27回全国高等学校文化連盟将棋新人大会でも男子個人3位に入賞しました。県内でも各方面の方々の温かいご協力のもと、大会参加者が急増し、すそ野も広がってきました。

皆さんも、頭脳スポーツであると同時に日本の伝統的な文化でもある将棋の魅力に触れ、対局を通して友情を育む機会とされてはいかがでしょうか。



〔放送〕

放送部は、アナウンス・朗読の読みの部門に加えて、ラジオやテレビのドキュメンタリー、ドラマの制作を行っています。取材の中で味わった感動をしっかりと伝えるために、私たちは、日々、地道な発声練習や滑舌練習、インタビューや映像・音声の編集技術の向上のために努力しています。また、放送部の大会は、お互いがライバルであると同時に、たくさんの感動を分け合うすばらしい仲間との出会いの場でもあります。他校の作品や読みに触れ、互いに切磋琢磨することで、お互いに高め合うことができます。

山口県勢は、近年、NHK杯全国高校放送コンテストや全国総合文化祭で、上位入賞を果たしています。メディアの発達により、幼い頃から様々な表現に囲まれて育った現代の高校生は、表現者としてもたくさんの可能性を秘めています。多くの仲間、自分の表現で感動を伝えませんか？あなたの参加を待っています。



〔文芸〕

文芸部門では、毎年、山口県高等学校文芸コンクールを開催し、その結果、優秀な成績を収めたものが、次年度の全国総合文化祭に参加しています。全国総合文化祭では、全体会の後、散文、詩、短歌、俳句、文芸誌の5部門に分かれ、研修を受けるとともに、全国からやってきた多くの高校生と交流し、貴重な経験をしています。

また、毎年秋に開催される中国ブロック大会や全国コンクールにも積極的に作品を出品し、優秀な成果を収めています。愛媛県松山市で開催される俳句甲子園にも出場し、昨年は徳山高校が優勝しました。

文芸部では、俳句・短歌・詩・小説を創作し、それらをまとめて文芸誌にする学校もあります。自分を表現する方法は、さまざまありますが、文芸部員は言葉を通して、また文章を通して自分を表現する方法を日々磨いています。年に一度のコンクールでは他校の生徒のみなさんの作品を読む機会があり、刺激をもらっています。言葉で自分を表現する方法を模索することは楽しいです。それにいつでも、どこでも鉛筆1本あれば簡単にできます。みなさんも一緒に創作活動をしてみませんか。



〔自然科学〕

自然科学専門部は、山口県高文連15番目の専門部として誕生し、今年度で8度目の全国総文祭を迎えます。この専門部は、各高校で研究活動している皆さんに、研究成果を発表する場を提供することや、巡検などで開催地独自の研修を体験することで、自然科学への興味をもっと引き出し、発展させたいという目的で設置されました。

昨年度は高川学園高校、柳井高校、宇部高校の皆さんが、諏訪湖の湖畔にたたずむ、諏訪東京理科大学で行われた全総文祭に出場し、とても立派な発表をされました。また、今年度の全総文佐賀大会は、佐賀大学を会場に開催され、慶進高校、高川学園高校、柳井高校、宇部高校が出場します。そして、そこで研究成果を披露するために、現在も研究に励んでいます。

どの高校でも研究活動している高校に出場権があります。山口県の自然科学部の皆さん、全総文祭での発表を目標に、より研究に励まれることを期待しています。



〔小倉百人一首かるた〕

小倉百人一首かるた部門は、発足して今年度で7年目となりました。近年、競技かるたの人气が全国的に高まっています。それに伴い、山口県内の競技かるた選手の人口も年々増加し、専門部の活動の幅も広がっています。

かるた競技は、「畳の上の格闘技」といわれています。静寂と美しい日本語の調べのなかで自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断をしながら、長時間の対戦に耐え得る体力と精神力が求められる厳しい競技です。また気品ある振る舞いも必要です。選手たちは、日々厳しい稽古に取り組んで、技術だけでなく、人間性も磨いています。

かるたの夏の全国大会は、かるたの聖地として有名な滋賀県大津市の近江神宮での高校選手権大会と全国高校総文の2つがあります。昨年度は、小野田高校が、全国高校選手権大会の山口県代表校として健闘しました。また中国大会でも、第4位という好成績を収めました。

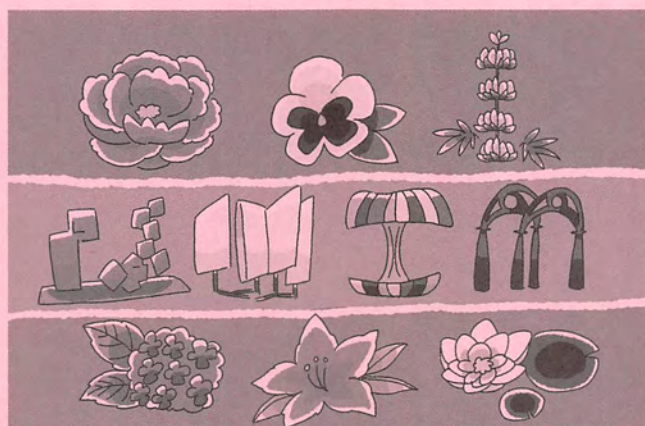
かるたに向き合っている選手の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来のかるた名人・クイーンが育つことを期待しています。



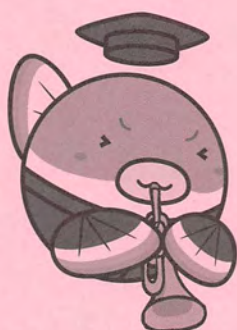
第 41 回 山口県高等学校総合文化祭
音楽 4 部門発表会

第 70 回 山口県高等学校連合音楽会
器楽・管弦楽 合唱 吹奏楽
マーチングバンド・バトントワリング

プログラム



SCULPTURE & FLOWER



期 日	令和元年6月14日(金)～6月15日(土)
会 場	宇部市渡辺翁記念会館
主 催	山口県・山口県教育委員会 山口県高等学校文化連盟
共 催	宇部市・宇部市教育委員会
後 援	山口県中学校文化連盟
主 管 校	山口県立宇部西高等学校 山口県高等学校文化連盟宇部地区音楽4部門関係校



あいさつ

山口県高等学校文化連盟

合唱部門

会長 牛 見 正 彦

(野田学園中学高等学校長)

明治時代、宇部市の産業発展の基礎を築かれ、さらには山口県の文明開化に大きく寄与された渡辺祐策氏の遺徳を記念して建築された国指定重要文化財「宇部市渡辺翁記念会館」において、令和最初となる山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会並びに山口県高等学校連合音楽会が盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。

本日は、平素からそれぞれの部門で活躍されている皆さんが一堂に会し、日頃の成果を披露するとともに、他の部門の音楽を体感できる、年に一度の貴重な機会です。もてる力を精一杯発揮され、皆さんの演奏、ステージが、観客の皆様全員の心に、感動のうねりを届けるものであってほしいと思います。

そして、今回の「広げよ 創造の大河 築け 未来への架け橋」のテーマのとおり、この歴史的建造物を起点として、先輩達から学び、大切に護り育ててきた皆さん一人ひとりの音楽が、一筋の流れから文化創造の大河となって、過去から現在、そして未来へと引き継がれることを心より祈念いたします。

終わりに、本大会を開催するにあたり御尽力いただきました主管校の小野田高等学校、本年度音楽4部門発表会並びに連合音楽会の主管校であります宇部西高等学校をはじめ宇部支部の関係各校の皆様深く感謝申し上げます。また、多大なる御支援を賜りました山口県、山口県教育委員会、宇部市、宇部市教育委員会に、厚く御礼申し上げまして御挨拶といたします。

日 程

第1日 6月14日(金)

- (1) 発表 《 9:45 ～ 16:35 》
器楽・管弦楽 合唱 吹奏楽 マーチングバンド・バトントワリング
- (2) 大会式 《 16:35 ～ 16:40 》
あいさつ 合唱部門 会長
牛 見 正 彦(野田学園中学高等学校長)
- (3) 全員合唱「翼をください」 《 16:40 ～ 16:45 》
【指揮】志 道 博 資
【演奏】宇部高等学校

第2日 6月15日(土)

- (1) 発表 《 10:00 ～ 16:35 》
器楽・管弦楽 合唱 吹奏楽
- (2) 全員合唱「翼をください」 《 16:35 ～ 16:45 》
【指揮】藤 田 隆 行
【演奏】防府西高等学校

音楽4部門発表会出演順

6月14日（金）

順番	形態	学校名（人数）	演技・演奏曲	指揮者	伴奏者	作詞者	作曲者	編曲者			
1	パントワリング	慶進中学校・高等学校（17名）	・ I want you back ・ Bang Bang ・ Lady for it ・ That's How you know	作詞	TWICE	作詞	ジェシー、アリアナ、ニッキー	作詞	テイラー・スワフト	作詞	デミ・ロバート
2	吹奏楽	宇部西高等学校（11名）	・ アシュランド パーク	指揮	豊田 恵美	作曲	エド・ハックビー				
3	吹奏楽	熊本北高等学校（15名）	・ モンセラット	指揮	宮本 敬司	作曲	八木澤 教司				
4	吹奏楽	厚狭高等学校（18名）	・ 西遊記～天竺への道	指揮	横山 達也	作曲	広瀬 勇人				
5	吹奏楽	下関商業高等学校（20名）	・ CENTURIA	指揮	岡本 哲	作曲	J.Swearingen				
6	吹奏楽	中村女子高等学校（21名）	・ 歌劇「トゥーランドット」より	指揮	岸 美砂子	作曲	Giacomo Puccini	編曲	後藤 洋		
7	吹奏楽	慶進中学校・高等学校（25名）	・ バビロン川のほとりで	指揮	村上 晃平	作曲	Ed Huckleby				
8	吹奏楽	美祢青嶺高等学校（25名）	・ インフィニティ	指揮	関段 俊徳	作曲	江原 大介				
9	合唱	慶進中学校・高等学校（18名）	・ マイバラード ・ はじまり	指揮	槇山 朋子	伴奏	吉富 優久美	作詞／作曲	松井 孝夫		
10	合唱	梅光学院高等学校（13名）	・ Gabriel Archangelus ・ [MISSA PRO JUVENTUTE]からGloria	指揮	能野 則之	作曲	Francisco Guerrero				
11	合唱	山口中央高等学校（20名）	・ 「日本、とこしえに美しく 日本古謡による女性三部合唱のためのミサ曲」より2.Gloria ・ 世界に一つだけの花	指揮	坂井 里衣	伴奏	高木 淳子	作曲	千原 秀喜		
12	合唱	岩国高等学校（14名）	・ 混声合唱曲集「夢見たものは」より 鷗 ・ あなたに	指揮	茶川 保子	伴奏	高木 望波	作詞	三好 達治	作曲	木下 牧子
						作詞	上江洲 清作	作曲	MONGOL800	編曲	林 祐介
～ 昼 休 み ～											
13	管弦合唱	山口高等学校（145名）	・ スタジオ・ジブリ作品から	指揮	中川 聡	作曲	久石 譲				
14	吹奏楽	豊浦高等学校（57名）	・ 復興	指揮	檜原 弘	作曲	保科 洋				
15	吹奏楽	防府商工高等学校（54名）	・ 交響曲第1番アーケエンジェルズ	指揮	藤本 博途	作曲	F.チェザリーニ				
16	吹奏楽	長府高等学校（45名）	・ オリエントの光芒～ウィンドオーケストラのために～	指揮	上野 香緒理	作曲	片岡 寛晶				

順番	形態	学校名(人数)	演技・演奏曲	指揮者	伴奏者	作詞者	作曲者	編曲者
17	吹奏楽	岩国商業高等学校(45名)	・歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より	指揮	即席	湖文	作曲	ピエトロ マスカーニ
							編曲	穴倉 晃
18	吹奏楽	新南陽高等学校(37名)	・リバーダンス	指揮	奥中 淳夫		作曲	B.ウィーラン 編曲 C.ストロメン
19	弦楽合奏	柳井高等学校(28名)	・弦楽セレナード 第5楽章	指揮	杉山 潤		作曲	A.ドヴォルザーク
20	管弦楽	山口中央高等学校(45名)	・組曲「ドリー」から	指揮	西村 正浩		作曲	フォーレ 編曲 ラポー
21	吹奏楽	下松高等学校(37名)	・秘儀IV〈行進〉	指揮	梅本 純子		作曲	西村 朗 編曲 福本 信太郎
22	吹奏楽	徳山商工高等学校(25名)	・鳳が如く	指揮	山近 純一		作曲	樽屋 雅徳
23	吹奏楽	萩商工高等学校(18名)	・薩摩唄幻想	指揮	平田 優一		作曲	八木澤 教司
24	吹奏楽	下関工科高等学校(17名)	・NATHAN HALE TRILOGY ・「名探偵コナン」メインテーマ	指揮	吉永 暁子		作曲	J.CURNOW 大野 克夫 編曲 宮川 成治
25	吹奏楽	周防大島高等学校(10名)	・イノセント・ジョイ	指揮	井ノ上 拓郎		作曲	下田 和輝
26	吹奏楽	防府高等学校佐波分校(5名)	・スタジオジブリ映画メドレー				作曲	木村 弓、久石 譲
							編曲	三浦 秀秋、島津 秀雄、鈴木 英史
27	吹奏楽	柳井学園高等学校(4名)	・It Don't Mean a Thing	指揮	木村 健康		作詞	Irving Mills
							作曲	Duke Ellington 編曲 Mark Tyler
28	吹奏楽	萩光塩学院高等学校(18名)	・吹奏楽のための民話	指揮	米本 次郎		作曲	Jim Andy Caudill
29	マンドリン	岩国高等学校(20名)	・流星群	指揮	森岡 大喜		作曲	末廣 健児
30	吹奏楽	柳井高等学校(33名)	・歌劇「道化師」より	指揮	田中 哲次		作曲	R.レオンカヴァッロ
							編曲	福島 弘和
31	吹奏楽	徳山高等学校(53名)	・火の鳥	指揮	井町 好子		作曲	I.Strawinsky 編曲 Earles
32	吹奏楽	岩国高等学校(64名)	・ウインドオーケストラのためのマインドスケープ	指揮	佐々木 真一			
							作曲	高 昌帥
33	吹奏楽	宇部高等学校(64名)	・シネマ・シメリック	指揮	志道 博資		作曲	天野 正道

～ 大会 式 ～
～ 全 員 合 唱 ～

音楽4部門発表会出演順

6月15日（土）

順番	形態	学校名（人数）	演技・演奏曲	指揮者	伴奏者	作詞者	作曲者	編曲者
34	吹奏楽	宇部フロンティア大学付属香川高等学校（32名）	・大いなる約束の大地～チンギス・ハーン	指揮 藤井 徹				
				作曲 鈴木 英史				
35	吹奏楽	山口農業高等学校（24名）	・躍動する魂Ⅱ〈浄化〉	指揮 福岡 恵美奈				
				作曲 江原 大介				
36	吹奏楽	山口県鴻城高等学校（20名）	・ちはやふる	指揮 内田 良一				
				作曲 樽屋 雅徳				
37	吹奏楽	高川学園高等学校（10名）	・フランス民謡ファンタジー	指揮 種田 裕彦				
				編曲 後藤 洋				
38	吹奏楽	田部高等学校（8名）	・明日へ吹く風	指揮 尾本 優輝				
				作曲 和田 直也				
39	合唱	宇部中央高等学校（3名）	・僕が僕を見ている	指揮／伴奏 高山 律子				
				作詞 川村 元気				
				作曲 岩崎 太整	編曲 横山 潤子			
				作詞／作曲 荒井 由実	編曲 西村 翼			
40	合唱	萩高等学校（28名）	・やさしさに包まれたなら	指揮 藤重 香帆	伴奏 内海 美桜			
			・無伴奏混声合唱のための「うたの遊星」より 脈をみるうた					
				作詞 木島 始	作曲 鈴木 輝昭			
				作詞／作曲 槇原 敬之	編曲 今村 康			
41	合唱	防府高等学校（38名）	・Ave Maria	指揮 上田 憲明	伴奏 岡田 菜帆			
			・糸	作曲 Tomas Luis de Victoria				
				作詞／作曲 中島 みゆき				
				編曲 山室 紘一				
42	合唱	野田学園高等学校（57名）	・僕が僕を見ている	指揮 田中 睦	伴奏 山城 麻衣			
				作詞 川村 元気				
				作曲 岩崎 太整	編曲 横山 潤子			
			・混声合唱とピアノのための「中島みゆき」より 宙船					
				作詞／作曲 中島 みゆき				
				編曲 信長 貴富				
43	吹奏楽	光丘高等学校（10名）	・雲のコラージュ	指揮 福田 望				
				作曲 櫛田 朕之扶				
44	吹奏楽	華陵高等学校（10名）	・ガルーダの翼	指揮 田村 早紀				
				作曲 広瀬 勇人				
45	吹奏楽	山口県桜ヶ丘高等学校（17名）	・「ルパン3世」のテーマ	指揮 竹内 麗子				
			・アニメ・メドレー 久石 譲作品集	作曲 大野 雄二	編曲 山下 国俊			
				作曲 久石 譲	編曲 森田 一浩			
46	吹奏楽	大津緑洋高等学校（20名）	・絵のない絵本 ～第12夜～	指揮 岡本 美和				
				作曲 樽屋 雅徳				
47	吹奏楽	岩国総合高等学校（23名）	・繚乱 ～能「桜川」の物語によるラブソディ	指揮 小松 秀之				
				作曲 松下 倫士				
48	吹奏楽	下松工業高等学校（24名）	・ウェールズの歌	指揮 伊賀 啓子				
				作曲 A. O デイビス				

～ 昼 休 み ～

順番	形態	学校名（人数）	演技・演奏曲	指揮者	伴奏者	作詞者	作曲者	編曲者
49	管弦楽	防府高等学校（33名）	・民謡の主題によるスコットランド行進曲	指揮	上田 憲明		作曲	C.ドビュッシー
50	管弦楽	下関中等教育学校（52名）	・ハンガリー舞曲から	指揮	石崎 学		作曲	ブラームス
51	吹奏楽	響高等学校（8名）	・交響詩「我が祖国」より「モルダウ」	指揮	来見田 宏昭		作曲	スメタナ 編曲 江原 大介
52	吹奏楽	柳井商工高等学校（12名）	・エルザの大聖堂への行列	指揮	武安 敏之		作曲	ワーグナー 編曲 高橋 宏樹
53	吹奏楽	豊北・下関北高等学校（19名）	・The Times	指揮	高木 雅明		作曲	高橋 宏樹
54	吹奏楽	田布施農工高等学校（21名）	・春に寄せて ～風は光り、春はひらめく～	指揮	小田 健太		作曲	福島 弘和
55	吹奏楽	熊毛南高等学校（25名）	・祈りの島 海の詩	指揮	福田 亮		作曲	鈴木 英史
56	吹奏楽	光高等学校（29名）	・舞踏組曲よりⅠ、Ⅱ、Ⅴ、終曲	指揮	中村 亮		作曲	ベラ・バルトーク 編曲 田川 伸一郎
57	吹奏楽	萩高等学校（30名）	・バレエ組曲「青銅の騎士」より	指揮	藤本 友治		作曲	R.グリエール 編曲 石津谷 治法
58	吹奏楽	西京高等学校（34名）	・アミューズメント・パーク組曲	指揮	丸山 航		作曲	高橋 宏樹
59	吹奏楽	宇部商業高等学校（35名）	・吹奏楽のための叙事詩『ジャンヌ・ダルク』より	指揮	安部 浩信		作曲	坂井 貴祐
60	吹奏楽	防府高等学校（36名）	・シンフォニエッタ第3番「響きの森」	指揮	上田 憲明		作曲	福島 弘和
61	吹奏楽	高森みどり中学校・高森高等学校（45名）	・交響詩「死の舞踏」	指揮	松野 将志		作曲	C.サン＝サーンス 編曲 福田 洋介
62	吹奏楽	早鞆高等学校（52名）	・「交響曲 第3番 作品89」より ・テキーラ	指揮	松井 友介		作曲	ジェイムズ・バーンズ 作曲 チャック・リオ 編曲 明光院 正人
63	吹奏楽	宇部鴻城高等学校（53名）	・組曲「ヴァレンシアの寡婦」	指揮	松田 廉遵		作曲	A.ハチャトゥリアン 編曲 仲田 守
64	吹奏楽	小野田高等学校（56名）	・「GR」より シンフォニック・セレクション	指揮	中村 一		作曲	天野 正道
65	吹奏楽	下関西高等学校（68名）	・ブリュッセル・レクイエム	指揮	飯田 幸生		作曲	B.アッペルモント
66	吹奏楽	防府西高等学校（73名）	・アルメニアン・ダンス パートⅠ	指揮	藤田 隆行		作曲	A.リード

～ 閉 会 式 ～
～ 全 員 合 唱 ～

翼をください

作詞 山上路夫
作曲 村井邦彦
編曲 佐々木真一

1 ♩ = 60 Calm 1 ♩ = 88~92
 mp

Part1

い ま — わ た し の ね が — い ご と
 い ま — と み と か め い よ — な ら —

Part2

が か なら う ない ら ば つ ば さ が ほ し い
 ば い ら な い け ど つ ば さ が ほ し い

[illegible]

3 **Energico**

f この おおぞらにー つば さをひろげー とん で ゆき たい

f い この おおぞらにー つば さをひろげー とん で ゆき たい

più f

よ — かな しみのない — じゅ うな そらへ — つば さ はため か

よ — かな しみのない — じゅ うな そらへ — つば さ はため か

rit.

せ ゆ き た い

せ — ゆ き た い

mp rit.

mf p *mf p* *mf p* *mf p*

poco *Ah-*

p

せ — ゆ き た い uh — uh-

Coda

♩ = 66

翼をください

いま私の願いごとが

かなつならば 翼がほしい

この背中に 鳥のように

白い翼 つけて下さい

この大空に 翼をひろげ

飛んで行きたいよ

悲しみのない 自由な空へ

翼はためかせ 行きたい

いま富とか名誉ならば

いらないけど 翼がほしい

子どもの頃 夢見たこと

今も同じ 夢に見ている

この大空に 翼をひろげ

飛んで行きたいよ

悲しみのない 自由な空へ

翼はためかせ 行きたい

